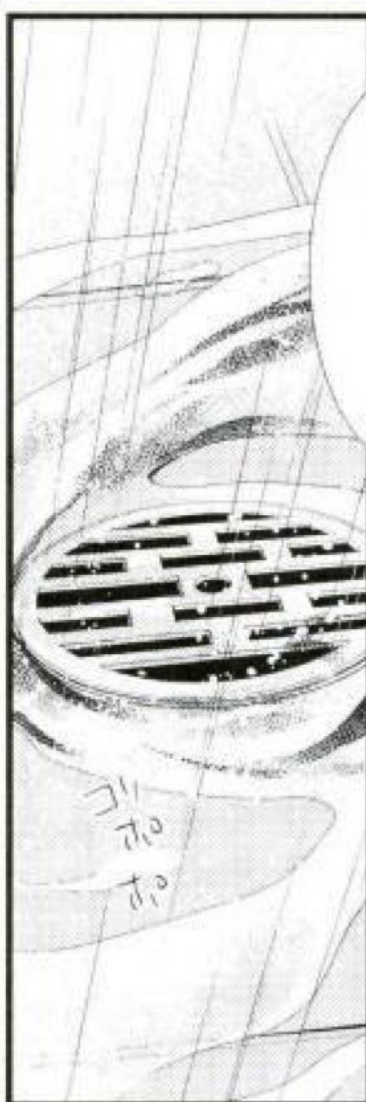
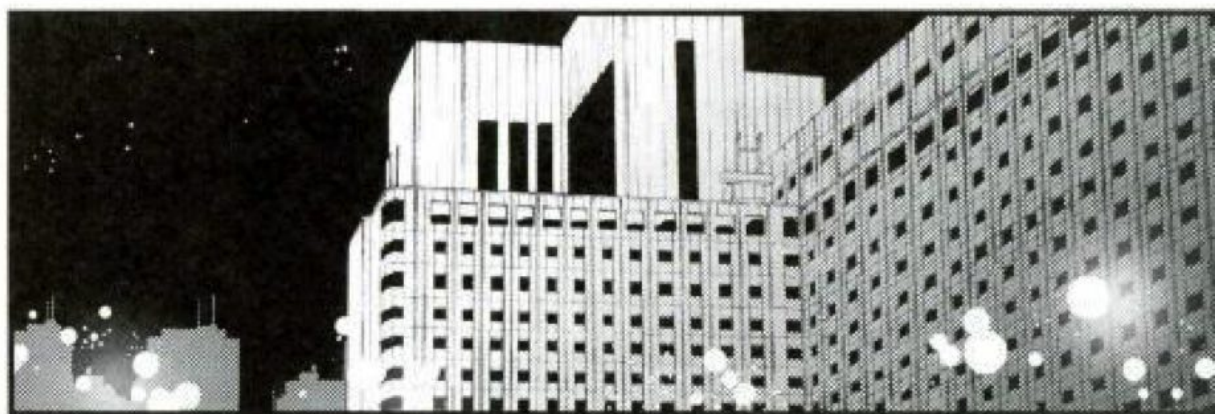




LOVE DISTANCE

CODE
:FIRST
PART

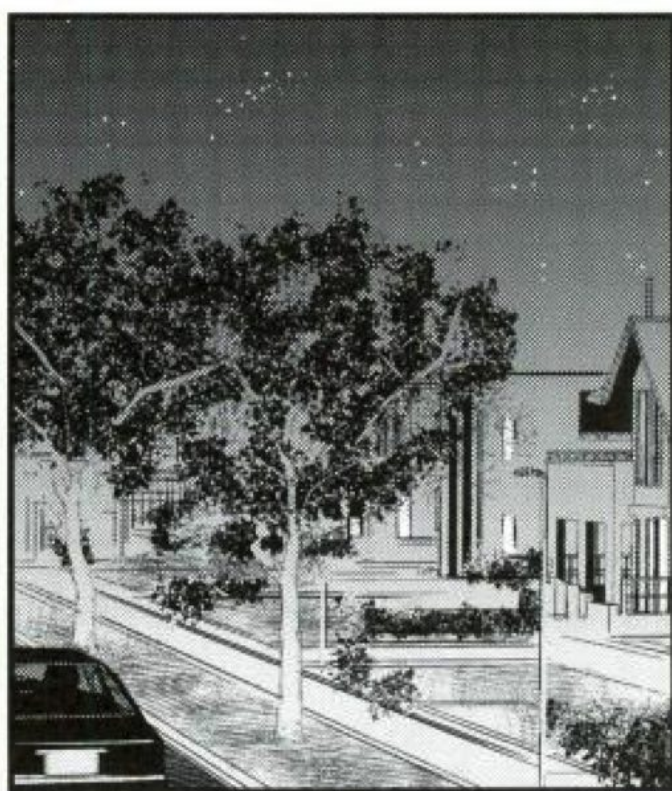
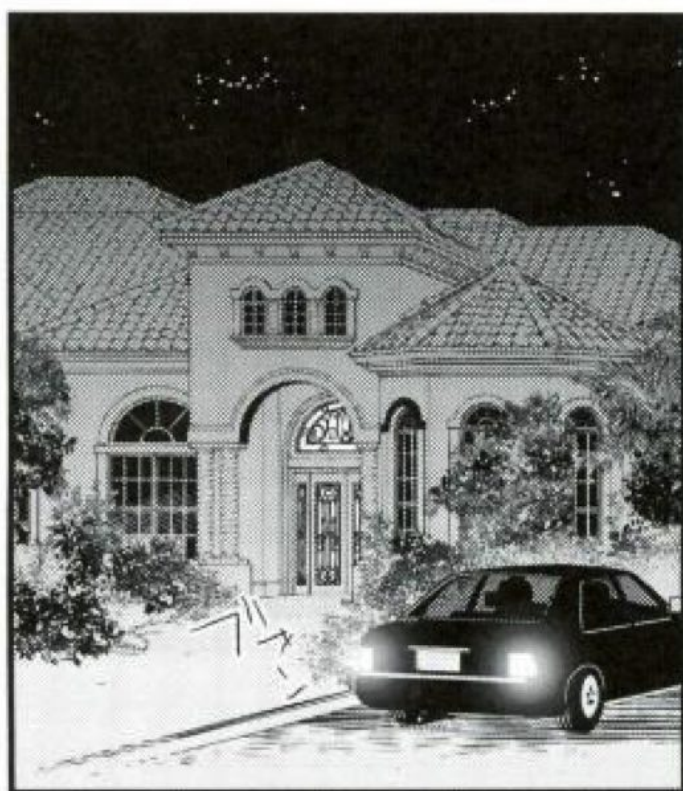
R18

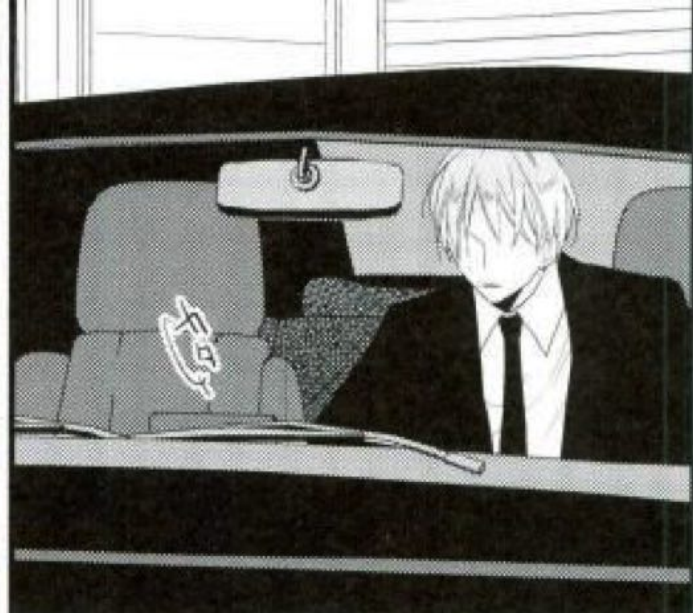




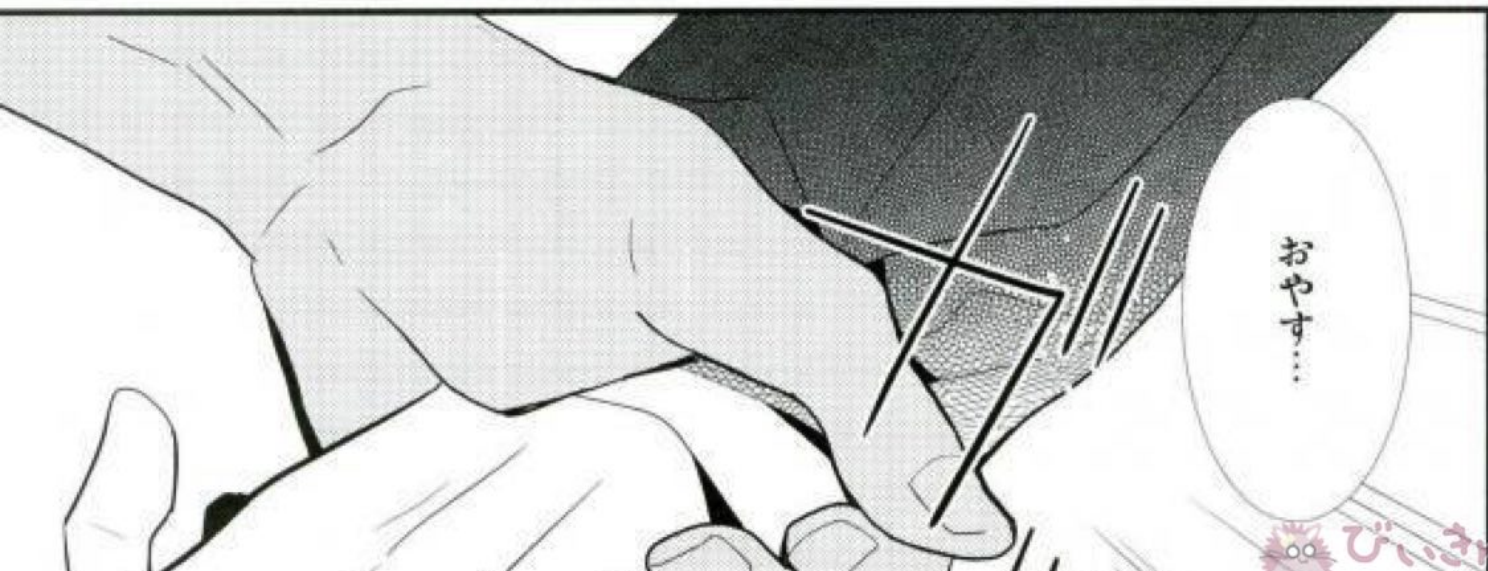
匂いとれたかな

ったく













ゴムつけてない時は
中に出さないでって
言ったじゃん



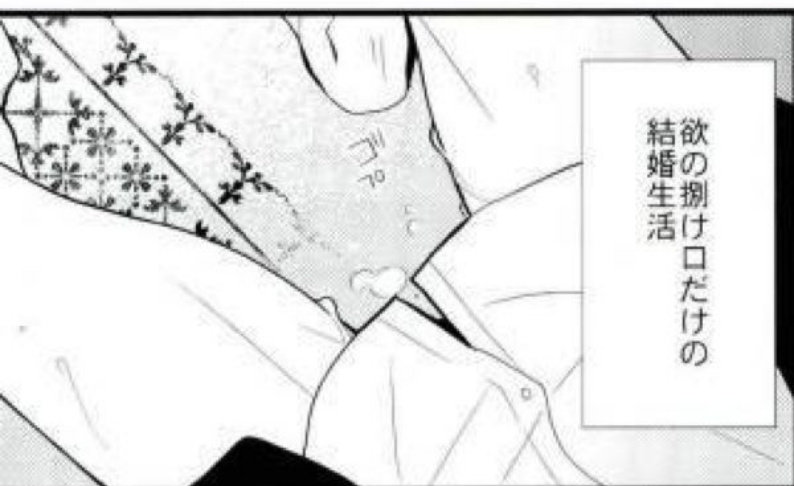
仕事なんすけどね

殺し屋ってことは
秘密だから
言えるわけないけど

敏感人だから オレが
青峰 たち以外の 人とも
関係を持って いることに
多分 気づいて いる



もういつからキスを
していないだろう



欲の捌け口だけの
結婚生活



青峰 たちは
"悪い"とは 言わない

俺達の愛は

とっくの昔に冷めている

そう

これでも恋愛結婚だった

6年前――

南米コロンビア
首都ボゴタ



やばいっすね
高級ホテルだから捜査の手は
伸びにくいと思ったんすけど
しくじったかな

すみません

お一人ですか？

あ
えーと…

連れに何か用か？

え



助けてくれて
ありがとう

気にすんな
オレも一人だったから
めんどくせーって
思ってたよ

オレ 黄瀬涼太

アンタは？

青峰大輝

かはっ
っーかお前
ダーリンって

いーじゃないっすか
そういう関係でもない
と
こんなホテル一人で
泊まらないっしょ

じゃあハニー

まーそれもそう



喜んで



今晚お食事でも
一緒にいかがかな？



危機一髪に乾杯



ねダンスはできる？



無口なんスね
青峰サン











アンタ物好きだね

そうかもな



緑間っち声大きいっス

失礼したのだよ



男同士で結婚など
うまくいくはずが
ないのだよ



それは承知っス

青峰っちノンケって
言ってたけど
俺って性別関係なく
魅了しちゃうし？

189cmの大男が
よくいうのだよ



相手はノンケなのだろう

それにお前が殺し屋であることは
相手に隠し通さねばならないのだぞ



でももう
プロポーズされた

大体さ 結婚なんて
試してみなきゃ
わかんないっしょ

試すにはリスクが
大きすぎるのだよ



幸せになると
約束するのなら

縁間っち祝って
くれるんでしょ?

勝手にしろ







標的は国防省に拘束され
現在地上を輸送中だが
メキシコ国境15キロ地点で
FBIのヘリに移される

ヘリに移される前に
始末してほしい

どんな大物——と思ったら
ただの雑魚じゃないっスか

何やったんスか

こちらの
不利になる情報を
掴まれて
しまつてね

涼太
やってくれるね

お易い御用っスよ



どうしたのだよ

民間人が
紛れ込んだんす

Arms recognition
武器認識

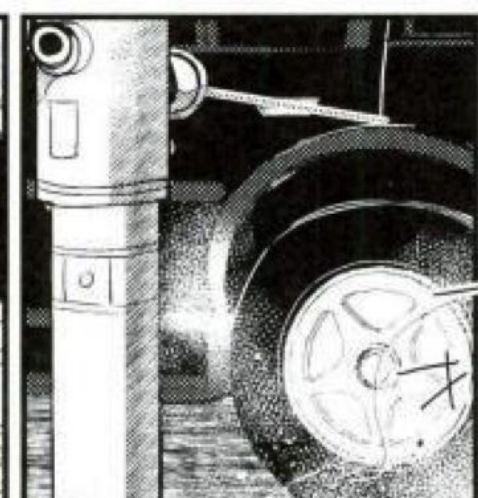
なんの用スか
こんな辺鄙なとこに――

ん？

民間人じゃない
同業者っス！

ターゲットが近づいてるよ
黄瀬ちゃん

わかってるっスよ









何だ?!

爆弾が仕掛けられていた

作戦中止だ
引き返せ

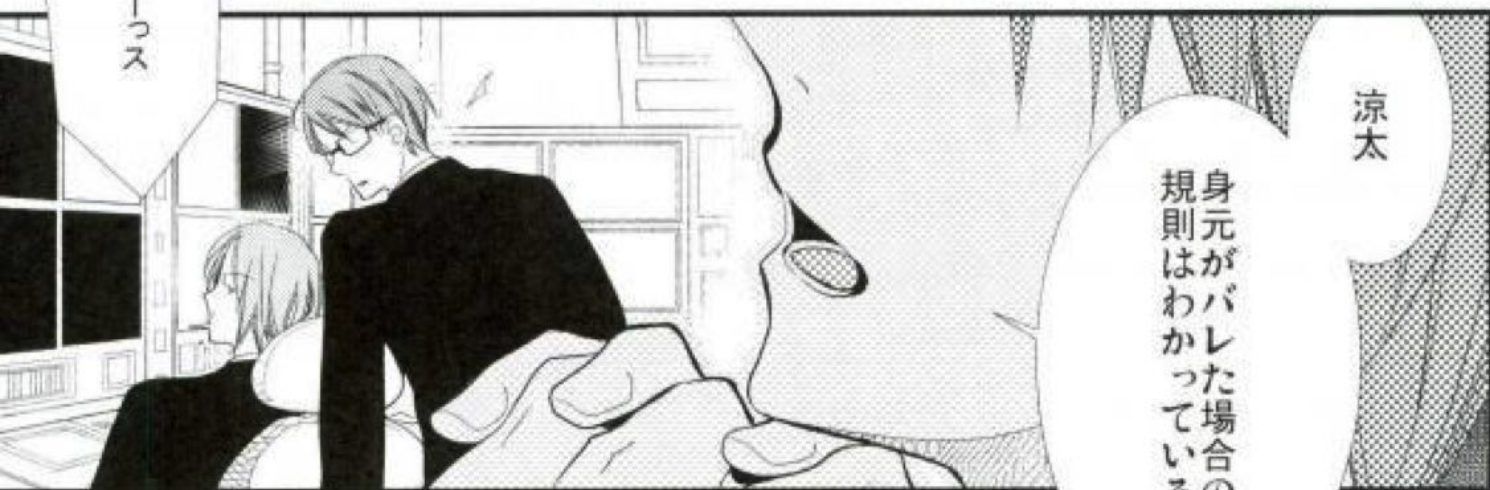


おい黄瀬
相手に姿を見られたのか?!

わかんねーっス



くそっ
アイツのせいで標的
仕留め損ねた



涼太

身元がバレた場合の
規則はわかっているね

後始末の猶予は48時間

出来なければお前を
始末しなければならぬ

わかってるっすよ

だから今

この場でさっさと
片を付けるっす

おわっ

ちっ
素早
い
か
避
け
た
か







あお
みねっ
ち…





何があつたのだよ



どうした黄瀬



僕達の失脚を狙う
競合組織がいるのは
知っているな



はっ

そういうことだったんす



どうもこうも
簡単なことじゃないっすか



黄瀬 どういうことだ

お前は一体



俺も アンタも
同業者で



互いを隠れ蓑に
してたってことっすよ



アンタには
申し訳ないと思ってたから
抱かれてあげてたのに

ざまあないっすね



アンタには
申し訳ないと思ってたから
抱かれてあげてたのに

ざまあないっすね



はじめから愛なんて
なかったんすから

そのまんまっス

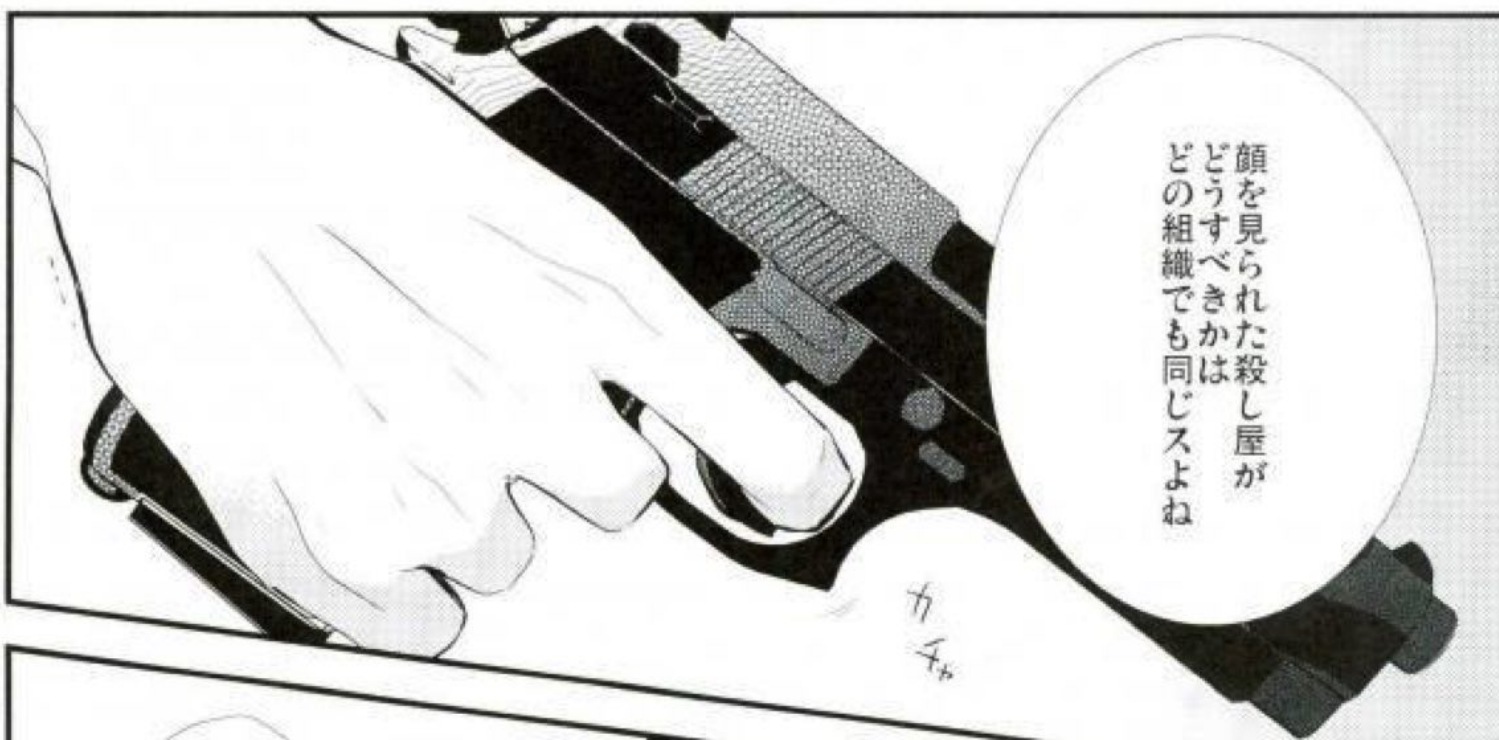
だって

びいき

そのまんまっス

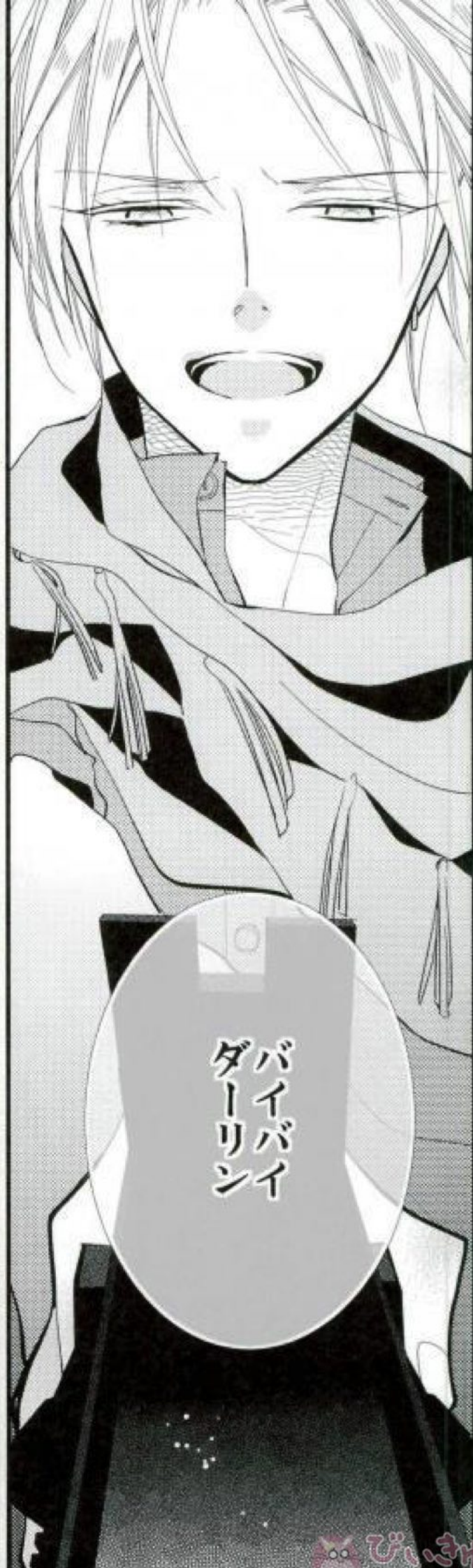
だって

びいき





黄瀬...ッ



バイバイ
ダーリン





お前の伴侶が
同業者とはな

しかも競合相手の組織に
属する男とは厄介だ

状況は聞いた

お前は

青峰大輝を殺せるか

何をすべきかは
わかっているな涼太



愛していた

出会った時の感情は
本物だった

けれど いつからだろう

こんなに気持ちさが
風ぎいてしまったのは



諦めるように
なってしまったのは――

大丈夫っすよ

あの人の愛ははじめから
全部偽物だった

愛していないから

オレは――



あの人を殺れるよ



To Be Continued



THE BASKETBALL WHICH KUROKO PLAYS.
FANBOOK#5

AOMINE*KISE

presented by
塩化カルシウム